

2001年度 第3回情報化委員会議事録

1.実施日時・場所

2001年9月26日(水) 13:00~16:10 (16:10より相互協力委員会との合同委員会を実施)
南山大学名古屋図書館

2.出席者

議長 南山大学(笹山 達成)
記録 愛知工業大学(津田 朋美)

愛知大学(三浦 文博)、愛知工業大学(津田 朋美)、岐阜聖徳学園大学(森本 真)、
金城学院大学(西尾 十和子)、椙山女学園大学(河路 峰雄)、中京大学(春日井 正人)、中部大学(古田 明彦)、
豊田工業大学(扇 美穂)、豊橋創造大学(川上 雅子)、南山大学(笹山 達成)、日本福祉大学(時實 育代)

3.議題

- 3.1 東海地区協議会ホームページについて
- 3.2 システム・ネットワーク化情報交換会について
- 3.3 システム・ネットワーク化アンケートについて
- 3.4 その他

4.議事内容

議事に先立ち、第2回情報化委員会の議事録の内容について確認が行われ、承認された。

4.1 東海地区協議会ホームページについて

委員長から、8月下旬に理事校から協議会 HP 開設の案内文書が発送されたとの報告があった。

三浦委員からは、下記のような報告があった

- ・相互協力委員会からデータを受け取っている。準備が出来次第、データをアップする予定。
- ・研究会のデータについては、森本委員から「第1回研究会の発表用パワーポイント」「第1,2回の研究会の記録」「研究集会の案内」を受け取っている。早急に確認用HPにアップする予定。
- ・加盟館情報に関しては、協議会 HP のアナウンスの文書において9月末締め切りで、各加盟館に情報を HP に載せて良いかを問い合わせをしている。現在のところ、載せては困るという回答はない。
- ・システム・ネットワーク化アンケートは、10/1 から回答開始なので、10/1 にはアップしたい。
- ・リンク集については、UNIX 標準のコマンドで検索できるようにする。ただ、リンク集の更新の際には、データを入れ替えることになる。金城学院大学からもらったファイルメーカーのデータが読めないので、テキストデータでの受取を希望する。

加盟館情報について、春日井委員から、「館灯」からファイルを作成してリンクを貼ったが、リンク先につながらないものが幾つかあるので確認が必要であり、また、追加しなければならない新規加盟館があるのではないかと、という発言があった。

アクセスカウンタを付けてはどうかとの意見があり、利用状況を知る意味から付けることとした。

委員長からは、今のところ、問い合わせ先のメールアドレスには何も届いていないことが報告された。さらに、情報交換会等で HP の PR をしていきたいということや、今後も絶えず情報が発信できるようにするために、次回の委員会以降も、HP に掲載すると良いデータについて意見を出して欲しいとの提案があり、これを了承した。

他に、委員長から、理事校から届くことになっている協議会部分のデータがまだ届いていないので、再依頼するとの報告があった。

4.2 システム・ネットワーク化情報交換会について

- ・場所 : 愛知工業大学 AIT プラザ
- ・開催日 : 2001年12月6日(木)
- ・テーマ : 「Z39.50と横断検索 -異機種ネットワークの未来-
- ・講演者 :

Z39.50 について

入江 伸氏 (慶應義塾大学メディアセンター本部課長)

横断検索について

清野 俊樹氏 ((株)ブレインテック)

・情報交換会

3つの「分科会」方式とする。

委員の中で、分科会毎に進行役とまとめ役2名を決める。

事前に分科会のテーマ・話題が提示できた方が、参加者にとっても参加しやすく、委員も準備ができるので、10月上旬には、テーマ・話題について意見を出し、中旬には決定する。

テーマ・話題については、「電子媒体の資料はどの係が扱っているのか?雑誌係?閲覧・参考係?それとも専門の係があるのか?」「電子ジャーナルの購読状況」「紀要の電子化の問題点」「情報端末のセキュリティ」が挙げられた。

・業者プレゼンテーション

1つのプレゼンテーションを15～20分として4社行い、その後、参加者が業者に個別で自由に話を聞くことができるような時間を20分設ける。

業者は、雄松堂書店、紀伊國屋書店、丸善、ナウカ、日経BP社の「日経BP記事検索サービス」が提案され、雄松堂書店に関しては「デジタル・アーカイブ・プロジェクト」のプレゼンテーションについて、委員長から話がしてあることが報告された。紀伊國屋書店と丸善、ナウカについては古田委員が、日経BP社については扇委員が連絡を取るようになった。

・担当

講演…笹山委員長

業者プレゼンテーション

雄松堂書店…笹山委員長

紀伊國屋書店、丸善、ナウカ…古田委員

日経BP社…扇委員

・会費 : 2,000 円

昼食+お茶 1,500 円

ケーキ+お茶 500 円

・案内文書発送 10月下旬

・参加申込締切 11月26日

4.3 システム・ネットワーク化アンケートについて

アンケート項目の最終的な確認を行い、Q7所蔵資料電子化状況については、現在発行しているものを想定して質問し、回答の選択肢を学内・館内、外注、一部外注、検討中、予定なし、とすることにした。

アンケートのスケジュールは、9/26 アンケート発送、10/1 からHPの回答開始、10/12 は回答締め切りとする。

問い合わせへの対応については、時實委員で即答できるものは即答し、全委員に報告する。回答できないものは、全委員にメールして意見交換し、最終的に委員長が指示する。

未回答館に対しては、三浦委員と時實委員で連絡を取り合い、三浦委員から委員長に状況を報告し、委員長名で督促を行う。未回答館へはFAXにて回答依頼文書を送付する。

4.4 その他

・次回の情報化委員会について

場所 : 中部大学

日時 : 第一候補 11月14日(水) 13:00～17:00

第二候補 11月12日(月) 13:00～17:00

・委員長から、来年度の見学会候補の場所も各委員考えおいて欲しいとの依頼があった。

《 16:10 より相互協力委員会との合同委員会 》

合同委員会報告

各委員会の報告があった。相互協力委員会からは、11月16日に南山大学名古屋図書館で開催される情報交換会について報告があり、情報化委員会に対して、「相互協力委員会の情報交換会の分科会では、電子メディアに

ついて取り上げていないので、情報化委員会の方で取り上げてもらえると良い」との要望があった。

情報化委員会からは、相互協力委員会の情報交換会でも、紀伊國屋書店・丸善のプレゼンテーションが行われるので、情報化委員会の情報交換会でのプレゼンテーションと内容が重複しないよう、その内容が決まったら教えて欲しいと相互協力委員会に依頼した。

また、情報化委員長が、情報交換会での「分科会」のやり方について、相互協力委員にアドバイスを求めたところ、「参加者みんなに話してもらうことを目標にし、発言者が偏らないようにする」「事前のアンケートで参加者が何を聞きたいかを把握する」「テーマによっては事例を持っているところに根回しし、話題提供を準備する」という話が出た。

協議会HPについては、相互協力委員会から、「お知らせをトップページで直接見られるようにして欲しい」「データを渡したら、いつHPに載るかレスポンスが欲しい」という要望があった。

情報化委員長からは、12月の常任委員会までは、すべて事前に理事校の承認を得るようになっており、それ以降は承認の仕方が変わるかもしれないという話があった。また、加盟館情報については、最終的には私立大学図書館協会の加盟館情報にリンクする、またはデータをもらうことを考えているが、それについては手続きが必要であり、それまでは、館灯の情報(館員名は載せない)をアップロードする。この件については、理事校を通して依頼しているとの報告があった。

最後に、相互協力委員の加藤(愛知工業大学)委員から、私立大学図書館協会の助成金での研究「レファレンスコンソーシアムの有効性に関する実証実験」について、説明があった。10月1日からデータベースを公開し、メインメニューから掲示板・データ(日外アソシエーツ提供のレファレンスの電子データ)検索・レファレンス事例集が利用できる予定であり、各館に協力依頼があった。

以上